

## ■ ちょっと困った家のお悩み ～木造家屋 屋根修理の場合～

台風15号・19号と、立て続けに列島を襲った大風と水害。

今年日本の各地で浸水・土砂崩れ、建物倒壊等甚大な被害に見舞われました。

ここ板橋区でも屋根の棟（いちばん高いところ）の板金が強風にあおられて飛ぶという被害のご相談が多数寄せられました。

通常であれば持ちこたえますが、仕上げの部材は、下地が傷んだり、経年劣化で固定が緩んでいたりすると強風で飛ばされてしまうのです。



棟板金がとんでしまった。  
経年劣化などで固定が緩いところから、飛んでしまいます。



棟板金取替え 下地から直してしっかり固定。

戸建てでも、集合住宅でも、住まいは住む人がメンテナンスをしてこそ安全で安心な場所になるものです。

ブルーシートで屋根が覆われた被災地では、屋根上で作業できる職人さんが足りず、女性から高齢者、消防士さんまでもが、屋根上での作業の講習を受けていたということです。

「衣食住」のなかでも住まいは、専門的知識が必要な分野です。

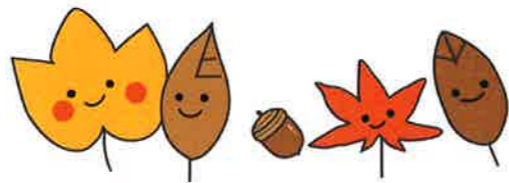
日頃から頼れる大工さんや、職人さんのおつきあいが肝心ですが、現代社会では希薄になってしまいました。

大切なお住まいとご家族の安全を守るためにも是非、日頃からメンテナンスのご相談を下さい。



絵：スタッフN

編集後記  
「KANUMA通信」11月号はいかがでしたでしょうか？  
災害はいつ起こるか分かりません。  
いつもの生活に防災を、備えあれば憂いなしです。  
お住まいご心配はお気軽にご相談ください。



耐震・防災リフォームはおまかせください！  
リフォーム・水回りのメンテナンス・ガーデンリフォーム等・・・  
住まいのなんでもお気軽にお問い合わせください

**株式会社 鹿沼工務店**  
電話 **03-3972-3617**  
受付時間 平日9:00～17:00  
(日・祝日・第2、4土曜はお休みです)

メール info@kanumakoumuten.co.jp  
HP http://www.kanumakoumuten.co.jp



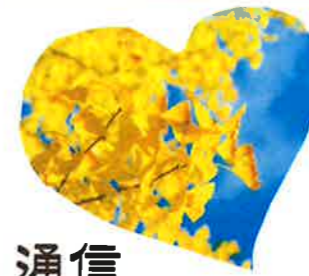
自然素材を楽しもう！

**KANUMA通信**

2019年11月号



株式会社 鹿沼工務店 〒174-0074 東京都板橋区東新町 1-14-12



台風15号・19号による被害を受けられた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。  
被害に遭われた方々へは、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

- 社長 will rock you!!  
～ 三鷹天命反転住宅 ～ ---P.1
- KANUMA 女子! いたばし小町スタイル ---P.1
- TOPICS いのちを守る  
～いつもの生活に防災を～ ---P.2,3
- ちょっと困った家のお悩み  
～ 木造家屋 屋根修理の場合 ～ ---P.4
- 編集後記 ---P.4

## 社長 will rock you!! ～三鷹天命反転住宅～



芸術家荒川修作と詩人マドリン・ギンズ夫妻による超未来住宅で、CASAには、「死なないための住宅」とある。  
人間の精神を鍛え強靱な身体を造り住む住宅だそう。  
しかし、荒川修作は、この住宅を造ってから数年後に亡くなった。  
平らなところが殆ど無い住宅である。  
見学中に色々なことを考えた。  
人が生活している24時間のうち約8時間は、睡眠をとるのだが一部屋だけ平らな部屋があり、そこで睡眠を取るのだろうか？  
それとも凸凹のあるリビングダイニングで寝るのだろうか？  
睡眠をとる場所が人生で一番重要な場所だと思うので、そんな疑問がわいた。  
また、16色の塗料で色彩豊かにしているが、住環境に欠かせない木材を使用しなかったのは何故か？等々・・・  
長命住宅なら、自然素材系の材料を選ぶのがオーソドックスだと思う。  
筆者は絶対に住めない住宅だと思うが、考え方は非常に面白く今後の参考になると思う。

文・写真：社長O

## 鹿沼工務店リフォーム部 KANUMA女子! いたばし小町スタイル

樹木希林さんが亡くなって1年。唯一無二のその存在感、演技に、共演の方が撮影中思わず号泣することもあったそうです。  
先日、映画「日々是好日」を見ました。この中では、樹木希林さんはお茶の先生です。お茶の所作は訓練で、演技は経験で・・・とはいえ他の女優さんには到底できないであろう存在感でした。

「床の間の掛け軸はおもてなし」ということが映画の中に出てきます。夏の日「瀧」の書の掛け軸。客人は本物を思い、涼を感じて、お茶をいただく。日本の誇らしい文化ですね。床の間が無くても、吟味した絵や書で壁を飾ると新鮮かも・・・！そのためにはお部屋を茶室のようにさっぱりとさせたいと思います(^-^)



文・写真：スタッフH・H

## TOPICS いのちを守る ～いつもの生活に防災を～

台風15号・19号による被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈りしております。

「未曾有の災害」という言葉が使われて久しい今日この頃、異常気象に、首都直下型地震・・・と今後の暮らしには不安がつきものです。

いったいどうしたら良いのでしょうか。

過去の自然災害を教訓に、いつもの生活に少しずつ防災を備えていきたですね

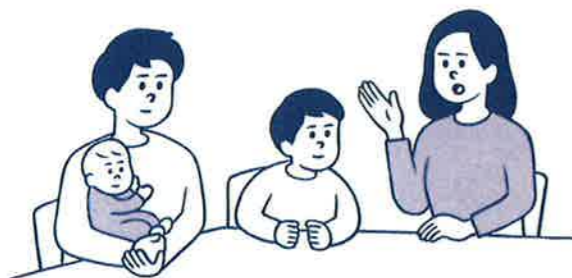
### まず確認！ ご自宅や職場や学校の地域の危険度・耐震性能を確認しよう！

#### ●地域の危険度

お住いの地域・学校・職場のハザードマップを確認しましょう。

洪水・土砂災害・火山・津波など種類別のマップが各市町村窓口で手に入ります。東京都では町丁目ごと地震による建物倒壊・延焼火災の危険性を「地域危険度」で測定しています。

ハザードマップは確認できましたか？



安全な避難ルートは確認してありますか？

ご家族と集合場所を決めましたか？

#### ●お住まいの危険度

まずは自分でお住まいを確認してみましょう。

1981年6月1日以降の建築確認（新耐震基準）が行われていますか？



壁にひびはありませんか？

ベランダに腐食や破損はありませんか？

新耐震以前に建築された場合、耐震工事はすんでいますか？

家具に転倒防止対策してありますか？

出入口がふさがってしまうような大きな家具はありませんか？

## 備えよう！ いつもの生活で防災しよう！

### ●お住まい地域の危険を把握したら安全な避難ルートを確認しましょう。

地図上で避難ルート決めていても、災害後、電柱・建物が倒れ、道がふさがるとは限りません。ご家族との集合場所までなるべく危険のない避難ルートを**実際に目でみて**確認しておきましょう。避難する際は、スリッパ程度ではなく、しっかり歩行できる安全な靴をいつでも自宅・職場に準備しておきましょう。

### いつもの生活で防災をするポイント

★ 浸水・倒壊などの危険がなければ自宅で在宅避難が可能です。非常用の食料・備品のストックを。

非常食は、普段からよく使う日持ちのよい食材を常備するのがおすすめです。



風邪大丈夫？



ありがとう！

★ 避難所に行く場合は、非日常の共同生活。避難先で盗難や暴力などは実際起きていること。被災したら人の力が頼りです。ご近所付き合いも希薄ですが、普段からあいさつや声掛けを心掛けましょう！

★ 移動中に被災することも考えられます。いつもの持ち物、いつものポーチを防災仕様にしては？



マスク・生理用品・常備薬・ウエットティッシュ・ビニール袋・笛・大判のハンカチ・筆記用具・メモ帳・飴などのお菓子

### ●お住まいの不安要素を把握したら、改善策を。

東京都と都内区市町村とで連携、所有者の負担減を図る取り組みとして耐震診断・改修工事への助成制度があるので、活用してください。

- ・住宅耐震化助成
- ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成
- ・マンション耐震化助成 など

ご自分では判断できない場合、高所などは危険もございまして信頼できる工務店などに相談ください。KANUMAは「東京都木造住宅耐震診断事務所」に登録されています。お気軽にご相談下さい！



電話 **03-3972-3617** 株式会社 鹿沼工務店

KANUMA  
にご相談を

